|  |
| --- |
| 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人名 | 有限会社フルライフ | 代表者 | 関口　尚登 |  | 法人・事業所の特徴 | 【法人】小規模多機能型の他に居宅介護支援・訪問看護・訪問介護・通所介護・福祉用具の事業にも取り組んでおり小規模ながら「総合福祉事業」を展開し、社会貢献したいと頑張っています。【事業所】坂の途中にある2階建てという恵まれない条件の中でも創意工夫をこらした取り組みをしています。3機能のうち訪問サービスの実施はかなりの量となっており機動性が備わっています。 |
| 事業所名 | 小規模多機能ホーム　パンジー | 管理者 | 露峰　嘉寸重 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援ｾﾝﾀｰ | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| 人 | 1人 | 1人 | 人 | 1人 | 1人 | 1人 | 2人 | 人 | 7人 |
| 項　　目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
| Ａ．事業所自己評価の確認 | 働き方が様々（パートさん・夜勤だけとか）なので、情報共有するために①業務日誌②スタッフノート③受診報告書を活用する。 | 出勤退出時に①②③を活用し業務に取り組んだ。スタッフ・利用者様の健康チェックを日に2回行っている。 | 自己評価ミーティング様式を見ると「よくできている」「なんとかできている」の人数が多く、努力が見受けられる。 | 働き方が様々（パートさん・夜勤だけとか）なので、情報共有するために①業務日誌②スタッフノート③受診報告書を活用する。④過去のヒヤリハットを活用。 |
| Ｂ．事業所のしつらえ・環境 | 清潔保持を心掛け、車の清掃も徹底して実施する。 | コロナ禍の中、アクリル板の設置。 | パンジー内の不快な音やにおいは感じない。「さくらちゃん」が自然に利用者に溶け込んで癒しになっている環境は良い。 | 清潔保持を心掛け、車の清掃も徹底して実施する。さらにフロア内も1日2回消毒と換気を行う。 |
| Ｃ．事業所と地域のかかわり | 見学会や相談会を開催し、小規模多機能の仕組みやパンジーを知ってもらう。 | 今年はコロナによって何もできなかった。 | 運営推進会議に参加する度にイベントの情報を聞き、地域CPとも連携して地域とのかかわりを密にしている様子がうかがえる。 | 見学会や相談会を開催し、小規模多機能の仕組みやパンジーを知ってもらう。現在の状況では、近隣の方との挨拶を交わす。 |
| Ｄ．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | 催し物、展示会など情報を得て参加できる機会を作っていきたい。 | 外出やお散歩に行けない状況の中、デリバリーなどを活用し季節の行事を行った。 | ・コロナ禍で利用者を外へ連れて行く機会が少ない中色々工夫をされている。・例年とは違う中、行事・食事等も利用者さん達に飽きがこないよう工夫が見られる。 | 催し物、展示会など情報を得て参加できる機会を作っていきたいが、現在の状況では今の暮らしを維持する。 |
| Ｅ．運営推進会議を活かした取組み | 事業所内外問わず構成員を増やし、活発な意見交換を目指す。 | 書面会議とした。 | パンジーの取り組みやこれからの予定、写真を見ながらの説明でわかりやすくて良い。前回問題になったことも今回このようになりましたと前向きに考えている。 | 事業所内外問わず構成員を増やし、活発な意見交換を目指す。 |
| Ｆ．事業所の防災・災害対策 | 防災訓練のお知らせを早めに配布、非常食体験。 | 非常食体験を行った。保存食が食べやすいものであるとわかった。 | ・町内の訓練の際、無事ですカードを掲示して頂いています。・以前パンジー便りにもあった利用者参加の防災訓練は繰り返すことにより、記憶に定着するためとても良いと思います。 | 防災訓練のお知らせを早めに提供の工夫をする。(きざみ、トロミの方法) |